

今年にはコロナウイルスの影響で「大阪市いじめフォーラム」に行くことができませんでした。そこで僕たちはいじめについて考えてみました。最近僕がみみにするいじめは、パソコンや携帯電話などのインターネット上のいじめです。話したことの無い人に対して「言葉の暴力」を与えるのです。その言葉を見聞きした人は、心が傷ついてしまったり、一人で深く悩んでしまったりします。例えばその言葉を削除したとしても、読んだ人の心は傷ついたままです。いつも心の隅に残っています。携帯電話やパソコンは、便利な機械ですが、しかし、一つ間違えれば凶器にもなります。また、いじめには、言葉の暴力以外にも、度を越えたいじりがあります。場を盛り上げようと軽い気持ちで人をいじる行為は、相手を傷つけてしまう事もあります。初めは、遊びのつもりでも、周りの雰囲気や相手の反応からエスカレートしていき、自分でも気づかないうちにいじめにまで発展してしまいます。

このようなことを、一人ひとりがしつかり理解して人の傷つくような言葉は言わない、書かないようにしましょう。自分が被害者や加害者にならないためにも相手の気持ちを考え意識を持っていきましょう。

僕たち生徒会は、このようないじめについてなができるだけ無くしていきたいと思っています。そのため、いじめ対策ポスターを作るなどできそうなことから初めていきます。僕たちと一緒に、「毎日、学校に行くことが楽しい」と誰もが思えるような瓜破中学校にしていきました。